

TOM'S PRESS WINTER 2013 VOL. 23

特集

富大流キャリアデザイン

◎【トムズ座談会】

北陸銀行 高木繁雄頭取 × 富大生
企業トップから学ぶキャリアデザイン

◎ 内定者が語る「私の就活体験」

◎ キャリアサポートセンターの支援メニュー

◎ 就活生による就活生のためのプロジェクト

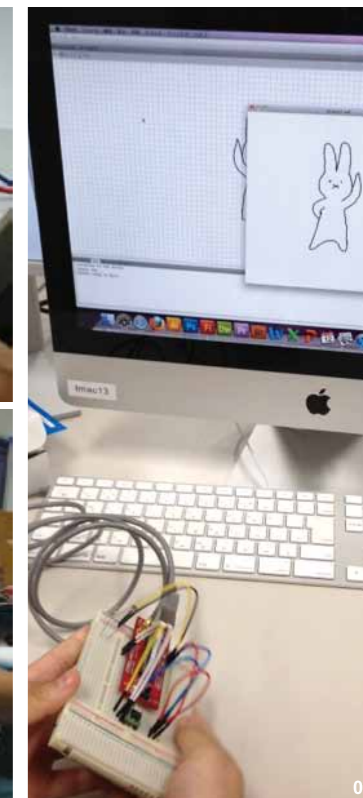
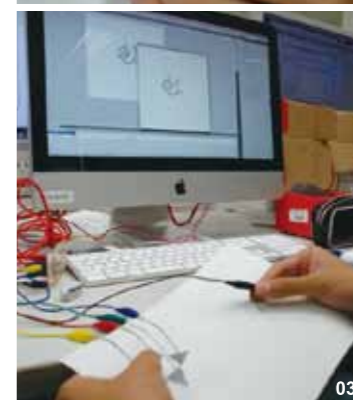
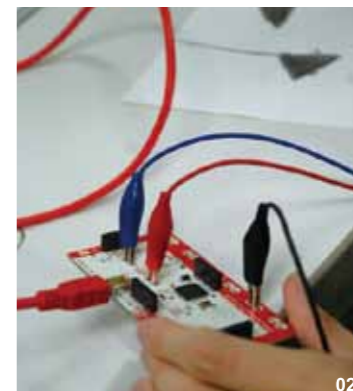
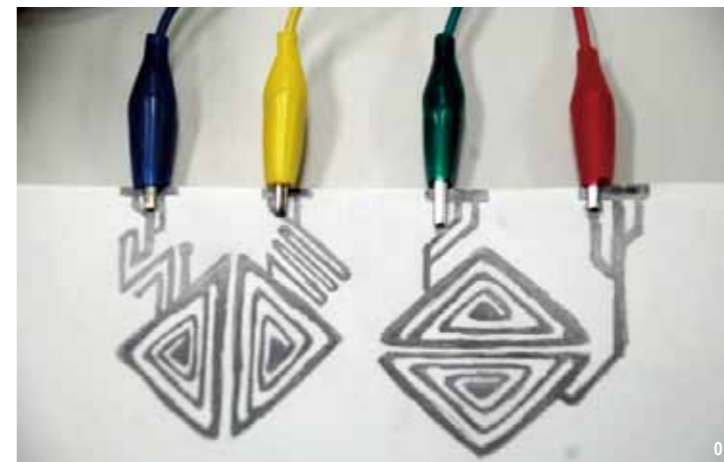
- 01 メディアアート応用表現01(鉛筆で導線をつくる1)
- 02 メディアアート応用表現02(鉛筆で導線をつくる2)
- 03 メディアアート応用表現03(鉛筆で導線をつくる3)
- 04 メディアアート基礎表現
(加速度センサーによる画像制御)

TOM'S GALLERY

芸術文化学部 「メディアアート基礎・応用表現」

芸術文化学部には、センサーを使ったインタラクティブアート作品を制作する実践的授業があります。「メディアアート基礎表現」では、加速度センサーや光センサーを制御する為の装置「gainer」を半田ごてを使って組み立てて、自分で制作した flashアニメーションを制御します。「メディアアート応用表現」では、鉛筆で描いた線をセンサーの導線として扱う事が出来る仕組みを学び、低コストと最新技術を組み合わせた意外性のある作品制作を行います。既存のアート、デザインの枠組みを超え、仕組みと表現力を同時に習得することができる教育環境を提供しています。

(芸術文化学部 講師 西島治樹)



左上に配置されている、アルファベットの「T」と「U」をモチーフにしたデザインは、新富山大学が、大空・世界を飛翔するイメージを表しています。大きい楕円は国際社会を小さい楕円は地域を表し、一体となって発展することを表現しているシンボルマークです。そのシンボルマークとともに使用されている、四角は伝統性を示しており、シンボルマークが三次元的にダイナミックに構成されることにより創造性の豊かさを表現しています。

発行日：平成25年1月15日
発行：国立大学法人富山大学
編集：トムズプレス専門部会

- 藤田 安啓 大学院理工学研究部教授
- 黒川 光流 人文学部准教授
- 廣瀬 豊 大学院医学薬学研究所准教授
- 東田 千尋 和漢医薬学総合研究所准教授
- 池田 真行 生命融合科学教育部准教授

問合せ先 富山大学総務部広報グループ
〒930-8555 富山市五福3190
TEL076-445-6028
FAX076-445-6063
E-mail kouhou@u-toyama.ac.jp

<http://www.u-toyama.ac.jp/>

Tom's Press はインターネットでもご覧いただけます。

本誌は、富山大学構内などで無料配布しています。
郵送をご希望の方は、住所・氏名・年齢・性別・職業を明記の上、メール又ははがきでお申し込みください。

本誌は、年4回、3カ月毎に発行します。
ご意見、ご要望をぜひお聞かせください。

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
再生紙と大豆インクを使用しています。



無断転載はご遠慮ください。

印刷・製本 前田印刷株式会社

Cover Story

“楽しい就活”

「就活がたのしいだ」という声が聞こえてきそうなテーマです…。でも、この表紙のキャラクターをよく見てください。なんともまめけな顔をしていませんか？履歴書に印鑑、朱肉、そして腕時計。なんだか堅いものばかりですが、ひとつひとつがこのコミカルなたのしい表情を作り出しました。きっと就活も視点をかえてみると、あなたの「たのしい」就活が見つかるかもしれません。

芸術文化学部デザイン情報コース2年生
阿慈地 駿社 小泉 柚真 畑田 祐里佳

富大生を強力にサポート！ 富大流キャリアデザイン

富大では1年生から人生設計や就職に向けたキャリア支援がスタート。キャリアサポートセンターの支援メニューの他、学生が学生のために企画運営する手作り就活イベントも富大ならではの特徴です。今号では、就職について様々な視点から考えたいと思います。



北陸銀行 頭取
高木 繁雄
Takagi Shigeo

「どのような人生を送りたいか、就職したら何をしたいか。自分の未来を輝かせるためには、目標を持って、一生懸命に進むことです。」

【トムズ座談会】 北陸銀行 高木繁雄 頭取 × 富大生

企業トップから学ぶキャリアデザイン



働くとは、仕事をするとは、どういうことなのでしょう。就職活動中の学生3名が北陸銀行の高木繁雄頭取を訪問。キャリアデザインや就職活動へのヒントをお話いただきました。

一人材育成を積極的に支援

高木頭取 当行では学生のインターンシップを受け入れている他に、もう一つ力を入れている事業があります。それは中国など新興国への短期学生海外キャリア研修です。世界を肌で感じ体験して、広く深く考える力を養ってもらうことが目的です。皆さんは海外へ行った経験はありますか。

瀧本 高校の修学旅行先がシンガポールでした。英語がなかなか通じず、自分の語学力のなさを痛感しました。

黒野 北陸銀行が支援する海外キャリア研修とは、どのようなものでしょうか。

高木頭取 富山発祥企業の海外現場や先輩の活躍を実際に見て、現地の大学生ともディスカッションを通じて交流します。現地に行けば、新興国の学生たちがどんなに勉強しているか、一目見ただけで分かります。彼らは語学が堪能な上に知識も豊富です。そして何より目が輝いています。

実施後、学長が「学生たちは『勉強になった』と喜んでます。今までのどんな提案事業より良かった」と報告に來られました。近隣の新興国に行つて経験することで、大学で学ぶ意味など、忘れてしまった多くのことを気づかせてくれます。ぜひ多くの学生に、日本を

飛び出しよその国の現実を見て来てもらいたいと思っています。

「就活は自分を見つめ直す好機

高木頭取 皆さんは実際に就職活動をやってみていかがですか。

黒野 忙しく、辛いこともありますが、サークルの先輩から会社や仕事の楽しさ、ピンチをどう乗り越えてきたかなど、体験談が聞けるのが楽しいです。

瀧本 エントリーシート作成法やビジネスマナーは入社するためだけの手段だと思っていました。社会人になるために、それらの基礎能力をつける時期が来ていることに気づきました。

増田 最初は大変だなあと印象でしたが、今は自分の将来を見つめ直すよい機会だと思つようになりました。

高木頭取 学生時代、私は東京の富山県学生寮にいましたが、4人のルームメイトは生涯の友となりました。今も良きライバルで、彼らに負けたくない思いで必死に仕事をやっています。

瀧本 学生時代に一生付き合える友に会われたのですね。

高木頭取 とにかく凄い連中でした。皆よく勉強するんです。学問においていかれたら、あいつは駄目だと飲み会にも誘われなくなるのではと一生懸命勉強しました。



増田 和馬
Masuda Kazuma
理工学教育部修士課程1年ものづくりが好きで理工学教育部へ。将来はものづくりに携わる仕事に就きたいと考えている。愛知県出身。



瀧本 梓
Takimoto Azusa
人文学部3年心理学を専攻。照明と心理の関係について研究を行っている。京都府出身。



黒野 恭平
Kurono Kyothei
経済学部3年北陸銀行でインターンシップを経験。金融関係に就職を希望している。愛知県出身。

CONTENTS

- P2 ■ 「トムズ座談会」 北陸銀行高木繁雄頭取×富大生 企業トップから学ぶキャリアデザイン
- P6 ■ 内定者が語る「私の就活体験」
- P8 ■ 学生をバックアップ！キャリアサポートセンターの支援メニュー
- P10 ■ 就活生による就活生のためのプロジェクト



私を含めた3人は社員2000人以上の企業の社長に、一人は裁判官から弁護士に、一人はソニーの研究者になっています。私の人生の中で彼らの存在は大きく、今も勇気や元気の原動力となっています。

会社に入ったら何をやるか、どうい人生を送りたいかなど、随分話をしました。自分がどうなりたいか、そのための目標をもつことが、就職活動にはまず必要だと思えます。

「夢に向かって真剣に取り組む」

高木頭取 会社に入ったら何をやるか、どうい人生を送りたいかなど、皆さんはどのように考えていますか。

黒野 会社に入れば関わる人の幅も広がり、その人達からいろいろと学び、それを他の人に伝えていきたいです。

瀧本 営業職が事務職になると思いますが、自分を習いに行つて様々な資格を取りました。このことが後に銀行での営業で役立ちましたね。通信講座も年々5〜6講座を受け、図書館へも通いました。

自分がこうやりたい、こうなりたいたいという目標ができれば、まず基礎から全力でやらないといけません。

瀧本 企業が求める人材とは、自分の目標をしっかりと持った人でしょうか。

高木頭取 そうですね。私たち採用する側としては、その場のしぎではなくて、どれだけ人生を真面目に考えて勉強し、何をしたいと思っているのかというところを見たいと思っています。

増田 目標は入社前に決めるのか、入社後に決めるのか、どちらでしょうか。

高木頭取 両方ですね。入社前は会社の詳しい中身が分かりませんから、目標の全部は決められません。

「努力は人を裏切らない」

高木頭取 福沢諭吉が「人生で一番幸せな事は一生を捧げる仕事を持つことだ」といっていますが、これは真理です。何事も嫌々やっていたら決して伸びません。就職活動の一番の目的は、自分はいったい何をやりたいのか、どうすれば喜んで仕事ができるのか、それを見つけてることだと思います。就職とは生涯

すが、ものづくりに関わる仕事で、そこで働く人を支えているという充実感を味わいたいです。他分野の企業でも、そのような夢は実現できますか。

高木頭取 銀行もそうです。様々な面から、ものづくり企業を支えています。

増田 私は世の中や会社に役立つ商品や製品、例えば工作機械などの設計や開発をしたいと考えています。

「基礎をおろそかにしない」

高木頭取 皆さんが学生時代に一番勉強したことを教えてください。

黒野 私はゼミでやっている社会調査です。SNS(ソーシャル・ネットワーク)のサービィでのプライバシーの考

をかけて自分が何をやりたいのか、それを実現するのにどんな就職先を選ぶのかということ。

自分はこのことをやりたいという信念があれば仕事は楽しくなり、その結果、成果が出てくるものです。

増田 苦労や努力は必ず報われる、ということでしょうか。

高木頭取 努力は人を裏切りません。ただし、努力しても報われないことはあります。私もそんな経験がたくさんあります。むしろ、うまくいった方が少ないです。しかし、これまでの努力は無駄だったと思つたことはありません。それに向かつて重ねた努力は、自分の宝物だと思っています。そんな心境になれるのは、優秀な友人のおかげです。彼らと切磋琢磨しながらも、自分は自分のやり方で努力してきたからです。

皆さんも自分の目標や信念をしっかり持つてがんばってください。



学部が主催する模擬面接の様子

え方がテーマですが、人の考え方や意見を聞けることが楽しいです。

瀧本 3年生の時に取り組んだ心理学の実験・研究です。必死で先行研究の論文や英語の論文を読み込み、研究発表しました。

増田 学部3年生の時に「ロボコンプロジェクト」に参加したことです。あるタスクを与えられ、どのように解決していくかをチーム全体で考え、そして自分で部品を設計して制作・加工するといった一連の作業ができたことがとてもいい経験になりました。

高木頭取 なぜこんな質問をしたかというところ、どんな職業でもどんなプロジェクトでも何かをやるには基礎が重要だからです。例えば、私は商学部でしたが大学の授業以外にも簿記や英会話

座談会を終えて

経済学部3年 **黒野 恭平**

高 木頭取のお話を聞いて、人の上に立つ方は人一倍勉強し、努力を重ねられていると思いました。努力の積み重ねには、自分はいかにありたい、という高い志と、頭取が学生時代に寮で共に過ごされたような、良き仲間が必要だということを実感しました。就職活動を含めた今後の自分の人生を歩んでいく上で、良い機会になったと思います。

理工学教育部修士課程1年 **増田和馬**

と ても緊張しましたが、様々なお話を聞くことができてとても良い経験になりました。働くことについて専攻の異なる方の考えが自分とは違う視点を持っていたので参考になりました。やりたいことに向かつて努力を惜しまないことが大事という言葉が印象に残っています。自分が何をしたいかを意識して就職活動を行っていきたいと思います。



**【一問一答】
富大生から
高木頭取へ**

問 県外や海外に転動の際、家庭と仕事はうまく両立できますか。

答 当行の場合、なるべく家族と赴任できるよう配慮しています。また、地域密着型の地方銀行として、その地域に縁のある人を支店に赴任させるようにしています。

問 旅先で印象に残っている場所はありますか。

答 学生時代はリュックを担いで日本の最北端から最南端まで行きました。また自分でお金を貯めて「早稲田船上大学」に参画して、世界史を勉強しながら地中海をクルーズしてきました。



人文学部3年 **瀧本 梓**

北 陸銀行に入社された頃から、企業のトップという立場になられた現在に至つてもたくさん勉強をするとおっしゃられた高木頭取に応援していただいた気がします。私も無駄になることを恐れずに努力を継続していきたいです！

(収録日：平成24年11月20日)

一人ひとりのSTORYからキャリアデザインのポイントが見えてくる 内定者が語る「私の就活体験」

実際の就職活動って？どんなところが大変？就職活動を通じて学ぶものは？
希望の就職先に採用が内定した4人の富大生に体験談を語ってもらいました。

**筆記試験で痛恨のミス！
すぐに気持ちを切り替え、ベストを尽くしました**

1 分野・職種の志望理由は？

人々のQOL(生活の質)を上げる医薬品に魅力を感じました。より良い医薬品を開発し、医薬品が秘める可能性に挑戦したいです。

2 就活で工夫した点は？

会社を詳しく調べ、質問をいくつか用意しました。説明会の質問タイムでは誰よりも早く挙手し質問。好印象で覚えていただきました。

3 就活での一番の失敗談は？

筆記試験で裏面の問題に気づくのが遅れて全問を解答できなかったこと！今できる最善の手は直後の面接でベストを尽くすことだと考え、気持ちを切り替え元気良く臨みました。

4 就職活動で学んだことは？

自己分析や他己分析で、今まで気づかなかった自分を知ったことです。

5 将来の夢

自分の研究成果として承認された医薬品が出回ること、世界の医療に貢献することです。富山県の医薬品産業が1兆円に成長し、活性化するための力になればと思っています。

6 後輩へのアドバイス

不安や不明なことは先生や就活の先輩、友達、家族などを頼ってみて。心の支えになります。悔いが残らないよう全力を尽くしてください。

金平 志織

Kanehira Shiori
人文学部 人文学科4年
卒業後の勤務予定先
富山県警察事務職員

続けることが大事

就活を一言で表現すると？

つらく苦しい時は、その都度自分と向き合いつつ前に進んでいきました

1 分野・職種の志望理由は？

富山県警察の説明会で富山県の暮らしやすさは治安が守られている上でこそ成り立つのだと改めて気付かされ、警察組織に関心をもちました。

2 就活で工夫した点は？

公務員試験の勉強と並行して、企業も数社受けました。勉強をしながらの就活は、時間的にも精神的にも大変でしたが、学ぶことも多かったです。学内の公務員講座では、面接・集団討論の対策や悩み相談にものっていただきました。

3 就活での一番の失敗談は？

公務員試験の二次試験で必ず必要となる、各自自治体が関連するニュースや

4 就職活動で学んだことは？

企業や自治体の方とメールや電話で連絡をとることで、「コミュニケーションのマナーが身に付きました。

5 将来の夢

多くの人から信頼され、仕事を任せられるような人になることが目標です。

6 後輩へのアドバイス

公務員志望は合格まで長丁場。途中でやめたくなったり、不安な時もありましたが、「この仕事がかしたい」という強い思いがあったからこそ続けてこられたと思います。



「自分」探し

就活を一言で表現すると？

自己分析を徹底していれば、企業や職種を選ぶ際に、長所や考えと結びつけられます

1 分野・職種の志望理由は？

食に興味があったこと、部活運営などに携った経験から、サポート役が向いていると感じていました。そこで食を根底の部分で支えていける品質管理という職種に行き着きました。

2 就活で工夫した点は？

話のアプローチの仕方。アピールポイントは1つか2つに絞り、エピソードを沢山考えておくことで話に一貫性ももて、自分をより相手に理解してもらえた気がします。

3 就活での一番の失敗談は？

多くの企業を受けすぎたこと。書類作成や企業分析に費やす時間が減り、面接準備が遅れるという悪循環に陥ってしまいました。

4 就職活動で学んだことは？

同じ就活生と話すことで、企業や就活の情報が交換できて、悩みが解決することが多くありました。

5 将来の夢

1年ごとに課題をクリアし続ける。自分から問題点や課題を提起出来る人になりたいと思います。

6 後輩へのアドバイス

就活は頑張っても、落ちる時は落ちる。つらいと思いますが、諦めずに納得するまでやり続けてください。

北村 夏子

Kitamura Natuko
理学部 生物圏環境科学科4年
卒業後の勤務予定先
食品メーカー

反省と成長

就活を一言で表現すると？

どんな状況でもプラス思考でやる気と積極性を出すことで、好印象を持ってもらえました

1 分野・職種の志望理由は？

企業説明会に参加するうちに、商品のデザインを考え提案する仕事に魅力を感じ、商品企画やデザイン企画の職種に絞って就活しました。

2 就活で工夫した点は？

面接では、指示されていなくても作品集を持参しチャンスがあれば見せながら、与えられた課題+αを持っていくなど、積極的に取り組みました。

3 就活での一番の失敗談は？

面接日のやりとりの中で、社員の方のお名前を間違えてメールを送信！何度も見返すべきだと実感しました。

4 就職活動で学んだことは？

様々な会社の方のお話やその土地の方々と会話することで、これまでの行動範囲では知ることの出来なかった考え方を知ることが出来、自分の中の視野も広がりました。

5 将来の夢

使う人が笑顔になれるデザイン提案を行うことです。商品の「+α」の魅力を考えられるように、常に世の中に関心を持っていたいと思います。

6 後輩へのアドバイス

最初はわからないことだらけでとても不安ですが、それでも経験していくうち、以前より成長した自分を感じることが出来ると思います。



上森 麻未

Uwamori Asami
芸術文化学部 芸術文化学科
デザイン情報コース4年
卒業後の勤務予定先
助野靴下株式会社

自分との戦い

就活を一言で表現すると？



就活生たちが気軽に利用できる、頼れる学校施設

キャリアサポートセンターの 支援メニュー

本特集に登場した
学生たちも活用!

気軽に利用
できます



●センター内で利用できるメニュー

就職キャリア全般に関する 相談

「どのよう就職活動を進めたらいいの?」「どのように自己分析を行えばいいの?」。進路を考えるにあたって、不安や悩みがたくさん出てきます。でも、いつまでも一人で悩んでいないで、早めに解決しましょう。進路相談、就職活動の進め方、希望業種の絞り方、企業研究のポイント、会社訪問の仕方、面接の心得など、キャリアコンサルタントの資格をもったコーディネーターが気軽に個別相談に応じています。予約は不要です。カウンターで受け付けています。



センターではキャリアカウンセリングの専門家が対応

センターの
パソコン限定!

企業情報検索

「TSR 企業情報ファイル CD・Eye」は(株)東京商工リサーチが取材・収録した全国の企業情報から優良、有力企業をピックアップし、25万社の最新企業情報を収録したCD-ROMです。社名その他32項目から検索できます。

職業適性診断システム

センターのパソコンに独立行政法人労働政策研究・研修機構が開発した職業適性診断システム「キャリア・インサイト」を導入。職業選択のステップを経験し、自己理解を深め、適性を考慮した職業が選択できるツールです。



●センターが主催するイベントや講座

就職活動支援事業の 企画・開催

「就職に関する講演会」「公務員業務等説明会」「企業合同説明会」「業界研究会」などを開催。また、「公務員試験対策講座」(有料)などを大学生生活協同組合との共催で行っています。

就職ガイダンス

富大では就職活動が本格化する3年生の春からガイダンスを行い、学生をサポートしています。

<http://www.u-toyama.ac.jp/career/schedule/index.html>

ガイダンスのテーマ(抜粋)

- 進路を考える
- 就職活動の進め方と採用傾向
- 業界研究・企業研究
- 自己分析
- 履歴書・エントリーシートの書き方
- 就職情報収集のポイント

就職情報(インターンシップ 情報)の提供

大学の就職の総合窓口として、就職に関する情報を広く収集し、ホームページなどにスピーディに発信しています。

1 求人票の閲覧

企業から寄せられる求人票や関連資料の閲覧ができます。また、ホームページでは、求人情報検索システム(学外からも可能)や、ヘルプシステム(学内限定)で求人情報を検索することができます。

2 求人企業のパンフレットの 閲覧

求人票に添付される会社案内などのパンフレットやCSRレポート、会社説明会の案内を見ることが出来ます。企業研究に活用できます。

3 公務員採用試験情報の提供

国家公務員や地方公務員などの採用試験の日程などを収集し、ホームページで情報発信しています。

4 求人検索や企業研究のための パソコン設置

就職情報会社や各企業の「就職ナビ」へのアクセスや登録、企業研究にも活用できます。就職活動に必要なパソコン活用法等の相談にも応じています。

5 各種適正検査の実施

VPI職業興味検査、パソコンによるキャリアインサイト(職業適性診断)を受けることができます。

6 ビデオ・DVD視聴、書籍・ 雑誌の閲覧

ビデオやDVDが視聴できます。また、就職活動関連の書籍・雑誌・新聞が閲覧できます。

富山大学 就職の手引き

(富山大学キャリアサポートセンター発行)
就職活動への心構えから、自己分析、提出書類の書き方、面接準備、身だしなみなど、就職活動の基本をまとめた一冊。



富山大学キャリアサポートセンター

センターからのメッセージや情報を有効に利用することが、実りある就職活動につながります。

○業務内容

- 就職を希望する学生を様々な形でバックアップ。
- 就職に関するガイダンスやセミナーなどの就職支援事業の企画開催をはじめ、就職活動に必要な情報を発信。



活用できる就職情報がたくさん!
<http://www.u-toyama.ac.jp/career/index.html>

- 所在地
五福キャンパス 学生会館2階
- 利用時間
8:30~17:15(土・日曜日、祝祭日及び年末年始12月29日~1月3日を除く)



- 面接対策
- 実践グループディスカッション
- マナーと笑顔・立ち居振る舞い
- リクルートファッショニング
- センスタップ講座
- 面接突破のための熱意ある話し方と客観的な考え方
- 県内企業紹介
- 企業説明会活用講座
- 公務員・教員採用試験の対策

学内の就職活動支援拠点「キャリアサポートセンター」。コーディネーターが常駐し、個別相談や、就職活動に必要な情報の提供の他、ガイダンス・講座の開催を行っています。

「学生による学生のため」を超えた、パワフル&ユニークな学内活動

就活生による就活生のためのプロジェクト



平成24年度 リーダー
経済学部3年
川端 輝
Kawabata Hikaru



メンバーは3年生の有志9名。イベント運営などでは、昨年のメンバー(4年生)3~4名がサポートに入る。

人と接する難しさを学ぶ

自主自立の精神を受け継いで
私は経済学部のゼミリーダーの先輩から誘われ活動内容を聞いていたうちに興味があり、学生キャリアサポーターになりました。活動時期は3年生の5月から、合同企業説明会への参加など、自分たちの就職活動が本格化する12月までです。学業と就職活動を続けながらは大変ですが、今後この活動をつないでいってほしいと思っています。

メンバーは最初ほとんど知らない者同士です。それぞれがコミュニケーションに苦労しながら、協力し合ってプロジェクトを創り上げていきます。そんな中で私はリーダーとして、人と接する難しさを学びながら、人の話を聞く力や会議をまとめる力を磨かせてもらっただと思っています。今は人と人をつなぐ職種に就きたいと思っています。また、イベントには何百人も参加するので、人前に出て話すことで度胸がつかえました！

Voice of the member



平成24年度 ガイダンスリーダー
経済学部3年
村山 莉華
Murayama Rika

広報の重要性を再認識

6月からメンバーが揃い、その年度の活動が始まりますが、その半年間の情報発信と広報内容をプロデュースしています。広報手段としては、イベント告知のポスターを貼ったり、チラシを配布したり、メールで案内したり、口コミでの宣伝も行っています。キャリアサポーターが主催するガイダンスの場合も借りて参加を呼びかけています。



週1回のミーティングでは、各プロジェクトの進捗状況や、企画・アイデアについて活発に意見が交わされる。

富大では専門職のコーディネーターの他、就職活動中の3年生が学生キャリアサポーターとして活躍。就活生の経験と視点を活かしたプロジェクトを展開しています。

10月の就活イベントでは1000人が参加。12月はハードルを上げて300人動員を目標にしました。達成に向けて必死に走り回りました。

活動を通じて適性を見つける

学生キャリアサポーターによる就職支援は平成23年度からスタートしましたが、就活生が就活生を陰で支える、という学生キャリアサポーターの活動は本当に凄いなと思います。私は活動やイベントを通じて、やりたいことが見つかりました！参加者の皆さんも、キャリアデザインの要素となる自分の適性を見つけてもらいたいと思っています。

「就活生と同じ目線で」をコンセプトに学生キャリアサポーターが企画・運営

●就活イベントの企画・運営

平成24年10月
「自分に合った就活プランを見つけよう!!」

8つの業種(金融・サービス・インフラ・情報・建築・流通・メーカー・商社)ごとに、参加者同士の顔が見える円型の席を用意。4年生の就職内定者と膝をまじえ、本音で語り合える座談会を実施。

平成24年12月
「就活への不安を抱えているあなたに!!」

10月開催で参加者から要望があったアイテムを盛り込んだパワーアップ版。参加者の生の声にこたえる3部立てで開催。プログラム

第一部 内定者との座談会
業界ごとにブースを設け、内定者と座談会。就活に関する様々な情報を交換。



●第二部 就活応援ブース

グループディスカッションブース、エンタリシート展示ブース、キャリアサポートセンターブース、内定者との相談ブースを設置。参加者のニーズに応じて各ブースをまわってもらう仕掛け。

●第三部 交流会

学内のカフェ「AZAMU」で開催。オープンな雰囲気の中、参加者、内定者、学生キャリアサポーター、キャリアサポートセンターのスタッフがお茶を飲みながら気軽に交流。

●「2012富大就活日記」の企画・編集・発行

内定を勝ちとるまでの道のりや、その人ならではの就活グッズなど、就活生が求めるきめの細かい情報が満載の「富大就活日記」。夏休み頃から企画を練り始め、学内ネットワークを駆使して内定者をインタビュー取材する。冊子全体の構成、内定者や業界・職種の設定、質問内容の検討、取材アポ、インタビュー、撮影、原稿起こしと多岐にわたる作業をメンバーでこなしていく。



2012年版が完成! 渾身の作!
編集方針は、学生の皆さんに読みやすく、親しみやすく、やわらかいこと。12月の就活イベントで配布された。

1年生の時からいろいろな人とコミュニケーションをとって、たくさん経験を積んでほしい。一人でも自分で考え、行動するように心がけた方が良いと思います。積極的に行動すれば、自分の考えも育つと思います。

川端 輝

富大生が就職活動に関して本当に知りたいこと、ためになることを掘り下げて考え、企画に活かしていければと思います。どうやったら参加者が集まるかも、知恵を出し合っていきたい。

村山 莉華

10月のアンケート調査で就活生から要望が高かったグループディスカッションを初めて実施。グループ面接はとにかく経験を積むことです。

3年生の皆さんへ!

2013年度 学生キャリアサポーター大募集!
富大生の就職活動をサポートしてみませんか。活動期間は2013年5月から12月です。

平成24年
11月19日
~21日

男子バスケットボール部
インカレ出場!

11月19日から東京都の国立代々木競技場第二体育館で開催された「第64回全国大学バスケットボール選手権大会(インカレ本選)」に富山大学男子バスケットボール部が北信越代表として出場しました。先に行われた「第46回北信越大学バスケットボール選手権大会兼インカレ予選」で全勝優勝し、本選に乗り込んだバスケットボール部は1回戦で北海道代表の道都大学に快勝、2回戦も関東代表の大東文化大学を相手に中盤までリードを奪い、互角の勝負を演じました。惜しくも勝利とはなりませんでしたが、3年連続ベスト16という結果を残した今後も更なる活躍が期待されます。
*「全日本大学バスケットボール連盟サイト内の「大会記録」には試合のレポートや勝ち上がり表が掲載されています。
<http://www.jubf.jp/>



平成24年
10月27日

吹奏楽団
第60回全日本吹奏楽
コンクールで銀賞を獲得!

10月27日に栃木県の宇都宮市文化会館で開催された「第60回全日本吹奏楽コンクール」に北陸代表として予選を勝ち抜いた富山大学吹奏楽団が出場しました。大学の部には全国の予選を勝ち抜いた12団体が出場し、3年ぶり4回目の出場を果たした富山大学吹奏楽団は自由曲で「交響曲1997『天地人』」を選び、和太鼓など十数種類の打楽器で力強い演奏を披露しました。全団体による演奏終了後、結果の発表が行われ、富山大学は見事銀賞を獲得しました。



カレンダー CALENDAR

後学期授業

五福・高岡
1月7日(月)~2月1日(金)
医学科2・3・4年生

杉谷
1月4日(金)~2月1日(金)
医学科1年生、看護学科、薬学部
1月7日(月)~2月1日(金)

補講・試験

五福・高岡
2月4日(月)~8日(金)

杉谷
2月4日(月)~18日(月)

春季休業

全キャンパス
3月31日(日)

学位記授与式(3月期)

全キャンパス
3月22日(金)

学位記授与式(3月期)

毎年、富山市総合体育館において挙行され、留学生を含む学部卒業生、大学院修了者、論文博士に学位記が授与されます。式終了後は、サークルやゼミの後輩が駆けつけ、卒業生をお祝いします。



学位記授与式
(昨年の様子)



シリーズ 研究者紹介

激動する世界経済と対峙しながら
海商の権利と安全を法で守る

志津田教授の研究を一言で表すと「企業法の理論と実際の総合的研究」だという。海商法・現代的商取引法・多国籍企業法・商法改正論などで、中でも取り組んできたのは「海商法」である。海商法とは商法の中でも特に海上輸送に伴う商取引について定めた法律だ。

「日本は四方を海に囲まれているため、他国との貿易を考えると、海運業は重要なウエイトを占めています。自ずと貿易、商取引や海運に関する法律が発生します。日本にとっては身近で重要な法律です」と話す。1997年の日本海への重油流出事故のほか、最

近でも船舶による海洋汚染や衝突などの海難事故も頻繁に発生し、さらなる法整備が急がれているという。

あらゆる角度から
未来の光を見出す

志津田教授がこの研究を始めたきっかけは、大阪大学時代に商法・海商法の大家であった、中央大学の戸田修三教授の著書を読んだことである。その分かりやすさに感銘を受け、戸田教授が教鞭をとる中央大学大学院に進学した。そこで、戸田教授の指導を受け海商法、とりわけ船舶先取特権に関する研究に取り組んだ。

現在、船舶の船籍はパナマ船籍の場合が多く、船員も中国やフィリピンなどの外国人がほとんどで、海難事故などの訴訟になると複雑な国際問題になる場合が多い。加害者の責任問題や賠償金のことを考えると、所有者がペーパーカンパニーであった場合、担保として高価な船舶を差し押さえることが念頭に置かれる。船舶先取特権とはこのように、その船舶に特定の債権を有

する者が、船舶、属具及び未収運送賃を先取できる権利のことをいう。

志津田教授は、こういった法律の研究について、「今起きている問題について、それに関する歴史的沿革、法律の比較法、国際条約の動向など、様々な角度から現状と方向性について検討し、研究しています。驚いたことに紀元前に成立した『ハンムラビ法典』の中にも、船舶事故に関する法規定が書かれています」と話す。船舶に関する法律は古くから存在し、時代とともにその内容が複雑化してきたそうです。

科学の進歩とともに様々な利権が生まれ、企業間、国家間の利害対立が鮮明になる。未来を見据えながら、これらをどのように調整するか検討し、法制度を整えるのが今後の課題だと考えている。



経済学部 教授 博士(法学)

志津田一彦

しづた かずひこ

企業法の理論
と実際の総合
的研究

Tom's History

生命科学先端研究センター

旧富山医科薬科大学時代の平成14年4月、最先端医学薬学、地域の総合的な生命科学研究の充実を図り、大型研究プロジェクトを推進・支援する中核的拠点の形成に対応するため、既存の動物実験センター（昭和56年設置）、遺伝子実験施設（平成7年設置）および放射性同位元素実験施設（昭和53年設置）を改組・統合して「生命科学実験センター」が設置されました。その後、機能が一体化した研究教育支援体制を構築するため、生命科学実験センターおよび実験実習機器センター（昭和59年設置）を改組・統合して、平成17年4月に「生命科学先端研究センター」が設置され現在に至っています。

同センターは、利用者に適切な研究環境を提供するだけでなく、安全対策や技術の教育・指導、最新情報の提供、先端的な技術の開発を行うことで、本学の研究の推進を支援しています。近年、遺伝子改変動物を利用した研究、全遺伝子や全タンパク質を対象にした網羅的解析、分子の動きや機能を目に見える形で解析するイメージング研究が不可欠になっていきます。これら利用者が望む様々な研究手法を可能にする多種多様な機器が充実した環境は、本学の生命科学研究の発展に大きく寄与しています。

動物実験施設、分子・構造解析施設、遺伝子実験施設、アイソトープ実験施設を有する富山大学生命科学先端研究センター（杉谷キャンパス）



動物実験施設、分子・構造解析施設、遺伝子実験施設、アイソトープ実験施設を有する富山大学生命科学先端研究センター（杉谷キャンパス）

TOM'S 薬箱

長生きのクスリ

ヒトの最大寿命は120歳程です。人生50年と言われていた時代には存在しなかった、公衆衛生、抗生物質、予防接種、出産時の危険のケアなどにより飛躍的に寿命が延びました。特に日本は世界でも有数の長寿国で2011年の日本人の平均寿命はおおよそ83歳です(男女の平均)。それでもなお、老化に抗う(アンチエイジング)こと、健康と若さを保つことは多くの人間にとって大なる関心事です。

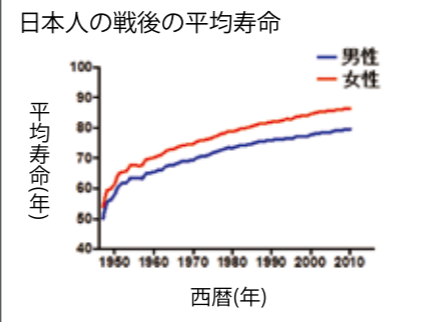
“なぜ老化するのか”に関しては、酸化ストレスが原因だとする説、ガン抑制遺伝子の関与説をはじめ、たくさんの仮説が提唱されてきましたが、老化の原因は一つに特定されるものではないという捉え方が優勢です。しかし、サルを含めた多くの生物種において、寿命を延長できるのが「カロリー制限」だということはかなり確実性があります。腹八分目は長生きの秘訣のようです。そこで、このカロリー制限によって活性化される遺伝子こそが長寿遺伝子だろうという目論見で研究された結果、サーチュイン1遺伝子が発見されました。サーチュイン1は、その作用の一つとして細胞のエネルギー工場であるミトコンドリアを増やします。通常ミトコンドリアが活動すると、実は酸化ストレスのもととなる活性酸素も生み出されてしまうのですが、サーチュイン1の作用では酸化ストレスはむしろ軽減されます。例えて言えば、大気汚染のないクリーンエネルギーがどんどん産生されているようなイメージです。サーチュイン1は、加齢によって発症しやすくなる老化関連疾患(糖尿病、ガン、心疾患、骨粗鬆症、神経変性疾患など)を軽減することも動物実験で明らかにされています。

そこで、注目されているのがサーチュイン1を活性化する薬物です。赤ワインのポリフェノール成分として知られるレスベラトロール、それとは構造が全く異なる合成化合物SRT1720が、代表的なサーチュイン1活性化薬です。どちらによっても、モデル動物における種々の老化関連疾患を抑制する作用が明らかにされています。

また、サーチュイン1とは別の、老化に関わるターゲット分子が、ある薬の作用から見つかりました。イースター島の土壌中の放線菌から産生された免疫抑制剤ラパマイシンです。ラパマイシンを投与されたマウスは寿命を延ばします。しかもかなり高齢になってからの投与で効果があることは驚くべき結果です。ただ、ラパマイシンには免疫抑制作用があるため単純にこれを長寿薬(候補)と考えることは難しいとされています。

サーチュイン1活性化薬にしてもラパマイシンにしても、ヒトでの寿命延長効果は、その検討の難しさからまだ確かめられてはいません。しかし、近年の老化研究の隆盛はめざましく、「生き生き長寿」を実現するヒントが次々と生み出されてくるでしょう。その恩恵に浴するためにも、やはり長生きしたいですね。

和漢医薬学総合研究所
神経機能学
准教授 東田 千尋



HELLO

ハロー先輩

悩みごと、読書、スポーツ、学生時代の糧が今も活かしている

卒業したのは今から22年前、「とりあえず基礎医学に進んでみようか」と思ったのは6年生の夏頃。それまで臨床に進むことに全く疑いを持っていませんでしたが、臨床実習にほんやりとした馴染みにくさを感じ、友人達とは少し違う道を選んでみようという冒険心と勃興しつつあった認知科学という新しい学問に好奇心が湧いての決断でした。それから現在まで、私は認知科学的な脳研究に携わってきました。分子生物学や再生医学だけでなく、この4半世紀に脳科学にもまた大きな進展があり、私たちの脳やこころに対する見方は大きく変わったと思います。そんな脳とこころの科学研究の深化を大学院時代から今に至るまでリアルタイムで見続けることができたことは大きな喜びです。

ひであり、研究者冥利に尽きます。私自身の研究もこれまでいくつか発表することができました。ようやく最近になってこれらの仕事にも自分のカラーを出せるようになってきたと思います。一見関係ないものであっても、学生時代にあれこれと深く思い悩んだことや、興味を持って読み漁った書物など諸々の物事が、現在の私自身の関心を強く決めていきます。今は廃れてしまったといってもいい精神分析が私の学生の頃はまだ流行っていて、巷間に一般書も数多く出回っていました。そんな本ばかり読んでいたことを懐かしく思い出します。

もうひとつ、学生時代にやっていた本に良かったことはスポーツです。私は大したレベルではなかったのですが、陸上競技部に属して体を鍛えたことが、どれほど研究生活に役立っていることが！研究に体力は必要不可欠です。



川端みどり
Kawabata Midori

ワールドウイング富山
平成24年3月 人間発達科学部人間環境システム学科
地域スポーツコース卒業



永福 智志
Eifuku Satoshi

富山大学大学院医学薬学研究部(医学)・准教授
平成2年 医学部医学科卒業